

学生目線の試合レポート！ ラグビータウンプロジェクト最 前線

うきは市と久留米大学では、様々な分野で協力しながら、地域に貢献することを目指し、連携協定を結んでいます。久留米大学の学生がうきは市を知り、課題解決に関わることで、関係人口（※）の増加や学生たちの教育に貢献することが期待されています。

今回は、ルリー口福岡の学生広報として、同世代のファンに情報を発信している久留米大学学生の小山^{おやま}りんさんから届いた、今シーズンのホーム最終戦のレポートをお届けします！

（※）移住や観光でなく、地域と多様に関わる人たちを指します。



地域の応援が、ルリー口福岡のチカラに！

5月4日、春のうららかな日差しの中で開戦した、ルリー口福岡のホームグラウンド「久留米総合スポーツセンター陸上競技場」での今シーズンのホーム最終戦は、リーグワンディビジョン3で首位のマツダスカイアクティブズ広島との対戦でした。これまでルリー口福岡を応援してくれた約1200名のファンの熱い声援に背中を押され、選手たちは気合十分！

前半は、勝利した前戦の良い流れを持ち込むことができ、トライも決まり、12対21と食らいつきましたが、後半は波に乗ることが出来ず、12対35で敗戦。悔しい結果となりましたが、これまでルリー口福岡を応援し

てきたファンの声援に見守られる試合に立ち会い、こうして地域が盛り上がりつついくのだと実感しました。

またこの日は、2015年のワールドカップで日本代表に選出された、カーン・ヘスセス選手が、公式戦100試合出場を果たし、記念セレモニーも行われました。

リーグワンに新規参入して迎えた初めてのシーズン。昨年の開幕後、初勝利を掴んだのは2025年3月30日のホーム戦で、間違いなく地域の皆さんの応援が選手たちへの力になっていると感じました。これからもルリー口福岡に熱い応援をお願いします！



▲公式戦100試合を達成し喜ぶカーン選手